

森里川海の恵み、 地域をあしたを考える。

私たちの生きる基盤、森里川海の恵みを認識し、未来の世代につなげていく取り組み、それが「つなげよう、支えよう 森里川海」プロジェクトです。
その取り組み内容や自然を活かした地域活性化への取り組みを紹介し、豊かな森里川海と地域のこれからを考えます。

つなげよう、
支えよう
森里川海

つなげよう、支えよう森里川海 ミニフォーラム in 十和田

1月21日(木)

会場：十和田市民文化センター 第1研修室

《プログラム》

- 主催者挨拶 環境省 大臣官房審議官 亀澤 玲治
- 共催者挨拶 十和田市長 小山田 久
- 『つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト』とは 環境省
- 特別講演

『森は海の恋人 人の心に木を植える』 NPO法人森は海の恋人 理事長 畠山 重篤

■地域における活動報告

『(仮)地域を支える奥入瀬溪流』 奥入瀬川クリーン対策協議会 会長 畑山 親弘

■参加者による意見交換

テーマ：「地域で残したい自然環境と人とのつながり、
それを未来へひきつぐ取組」



畠山 重篤
(はたけやま しげあつ)

日時：1月21日(木) 14:30~17:00(予定) 14:00受付
会場：十和田市民文化センター第1研修室 十和田市西三番町2-1
(駐車場は文化センター横および周辺のご利用となります※有料)
参加費：無料 ※事前申し込みは不要です
主催：環境省 共催：十和田市

お問い合わせ先：

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト 全国リレーフォーラム事務局

Tel. 03-3505-1253 E-mail info@morisatokawaumi.jp

時間 平日 10:00~18:00(土・日・祝祭日、平日 12:00~13:00を除く)

「つなげよう、支えよう 森里川海」プロジェクトについては、ホームページをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/>

県立気仙沼水産高校を卒業後、家業の牡蠣養殖業を継ぐ。海の環境を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守ることの大切さに気付き、漁師仲間と共に「牡蠣の森を慕う会」を結成(2009年、NPO法人森は海の恋人を設立)。1989年より気仙沼湾に注ぐ大川上流部で漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人運動」を行っている。

東日本大震災で牡蠣養殖施設等の全てを失うが、震災後の自然環境を活かした地域づくりを展開している。

近年の受賞歴は、国連森林フォーラム(UNFF)「フォレスト・ヒーローズ」受賞(2012年)、第6回 KYOTO地球環境の殿堂表彰(2015年)、第25回みどりの文化賞受賞(2015年)など。